

# 令和2年度(2020年度)

## 豊能町立光風台小学校 学校評価報告書

### 本校の教育目標

日本国憲法並びに教育基本法に則り、平和な民主社会を形成するために、基本的人権を尊重し、自分で深く考え、集団の中で高まり合う、心身ともに健やかでたくましい行動力をもつ人間の育成をめざす。

すべての児童にとって、楽しくてたまらない学校

#### ◎ めざす児童像

真摯に人と向き合う子

自ら考え、行動する子

自分も他の人も大切にする子

失敗を恐れずに挑戦する子

#### ◎ 重点目標

- 自分も他の人も大切にし、真摯に人と向き合う児童の育成
- 自ら考え、失敗を恐れずに挑戦できる児童の育成

#### ◎ 教育目標、重点目標達成のための具体的な取組

- ①「書くこと」をテーマに、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくり  
(つけたい資質・能力の育成) (健康・体力)
- ②自分も他の人も大切にし、真摯に向き合う児童を育成する  
(豊かな人間性)
- ③保護者・地域との信頼関係の構築、保・幼・小・中との連携  
(安心・安全) (開かれた学校づくり)

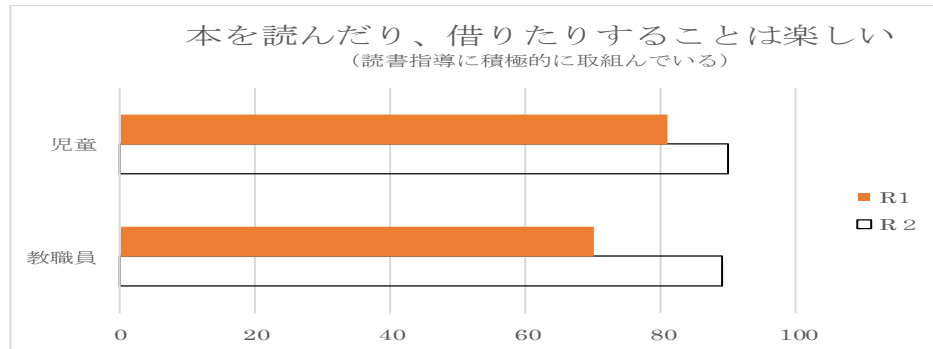
令和2年度(2020年度) 豊能町立光風台小学校 学校評価報告書(その1)

<p>① 設定目標</p>	<p>「書くこと」をテーマに「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを行う (つきたい資質・能力の育成) (健康・体力)</p>												
<p>② 本年度の 取り組み 状況</p>	<p>(つきたい資質・能力の育成)</p> <p>①授業研究 ・校内授業研、研究協議会。授業公開。授業評価等の研修。</p> <p>②指導形態の工夫 ・算数、国語、理科での少人数指導、T、Tによる指導。5～6年外国語でALTに加えて担任等が指導。複数学級学年での交換授業、合同授業。</p> <p>③光小スタンダードによる学習規律の確立</p> <p>④一斉朝読書を中心とした読書推進、家読(うちどく) ・朝読書。図書委員会による本の紹介、高学年による低学年への本の読み聞かせ。 ・学級文庫の設置。司書やサポーターによるブックトーク。保護者対象の読書啓発。</p> <p>⑤学力調査等の結果分析と指導改善 ・全国学力・学習状況調査(4月)今年度中止・校内学力実態調査(全学年毎学期実施)・とよのチャレンジ実施(日程未定)・力試しテスト(2月)。 ・授業アンケート。</p> <p>⑥放課後(わくわく教室)及び長期休業中(サマー・ウインタースクール)の自学自習教室の実施</p> <p>⑦今年度の外国語活動・授業の実施 ・1～2年年間10時間程度。3～4年で年間35時間、5～6年は年間70時間程度の外国語の授業</p> <p>(健康・体力)</p> <p>① 運動会(今年度中止)、水泳指導などの学校行事、授業を通じた体力づくり</p> <p>②光小遊び祭り等、遊びによる体づくり活動</p> <p>③食育の推進(栄養教諭による食育指導 きょうだい学級での給食交流会 保健給食委員会の活動推進)</p> <p>④保健指導の推進(給食後歯みがきタイム 養護教諭による保健の授業 保健給食委員会の活動推進)</p>												
<p>③ 性的自己 評価内容</p> <p>学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定</p>	<p>【学校教育自己診断の結果より】</p> <p>○授業研究、指導形態の工夫</p> <div data-bbox="419 1473 1316 1803" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>授業は分かりやすい、(工夫改善に努める)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>R1 (%)</th> <th>R2 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>78</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>80</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(※グラフは学校教育自己診断において、肯定的意見をまとめた数字です。以後、同様。)</p> <p>アンケート結果から、児童、保護者、教職員ともに「授業はわかりやすい(児童、保護者)」「授業の工夫改善に努めている(教職員)」の肯定的な回答が高くなっている。自宅待機や分散登校等の時期を経て通常の授業が実施できるようになった。通常の授業を行える喜びと教職員の努力が、児童や保護者に伝わったのではないかと考える。</p>	対象者	R1 (%)	R2 (%)	児童	78	92	保護者	85	88	教職員	80	82
対象者	R1 (%)	R2 (%)											
児童	78	92											
保護者	85	88											
教職員	80	82											

今年度は「書くこと」をテーマに校内授業研究を行い、教職員がそれぞれの良さや課題を共有し、日々の授業に生かすことができた。

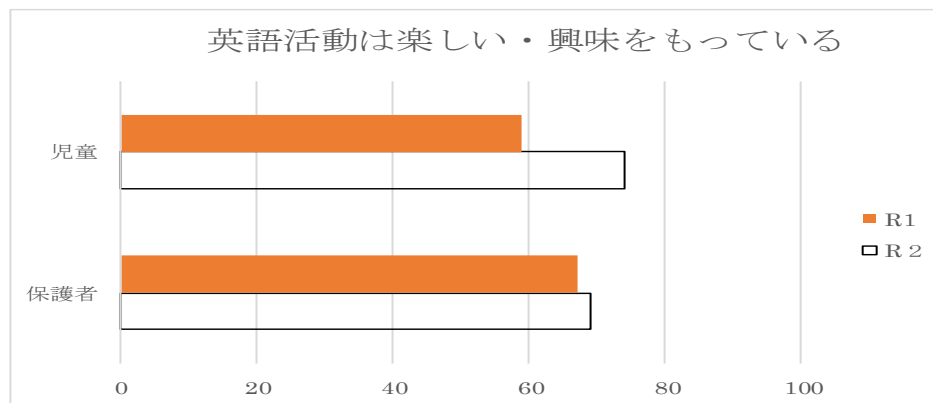


○一斉朝読書を中心とした読書推進、家読（うちどく）



児童および教職員のアンケート結果から、児童が読書活動について「楽しい」と感じ、教職員もその取り組みについて一定の手ごたえを感じることができたと考えられる。家で過ごす時間が増えたことも大きな要因であると考えられるが、各教科学習において、関連する本の読書を進めたり、幅広いジャンルの本を読むことを推奨したりしたことも要因の一つであると考えられる。

○今年度の外国語活動・授業の実施




児童および保護者のアンケートから、英語活動についての肯定的な回答が高くなっている。2学期からALTが退職し、学級担任や教科担当のみで指導を行うこととなった。映像や音楽、イラスト、写真等さまざまなものを活用して、授業を行うことで児童の興味関心を引き出しながら授業を行うことができた。5・6年生の英語科は内容がかなり難しく、英単語を書くことも取り組んでいかなくてはならない。今後は、さらに英語活動を充実させながら学習した内容の定着を図ることが課題である。

(健康・体力)

○運動会、水泳指導などの学校行事、授業を通じた体力づくり

- ・今年度、運動会・水泳指導ともに新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。
- ・体育館、運動場での3密をつくらないことを徹底しながら体育の授業を行った。2学期に体育参観を保護者対象に行った。

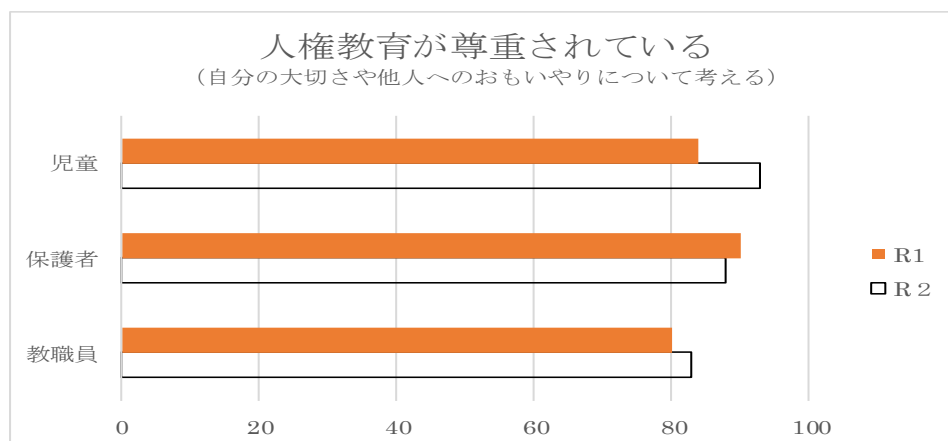
	<p>○光小遊び祭り等、遊びによる体づくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光小遊び祭りも中止。</li> <li>・体育委員会主催の「靴飛ばし大会」を3学期、運動場で学年ごとに開催した。</li> <li>・休憩時間には、2学期は鉄棒、3学期はなわとび、ランニングを中心に子どもたちが積極的に活動することができた。</li> </ul> <p>○食育の推進（栄養教諭による食育指導 きょうだい学級での給食交流会 保健給食委員会の活動推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の指導について、どの学年においても行うことができた。</li> <li>・保健給食委員会は図書委員会とのコラボで、「食に関する絵本の読み聞かせ」を行い、全校児童対象に「食の楽しさ・大切さ」について伝えることができた。</li> </ul>  <p>○保健指導の推進（給食後歯みがきタイム 養護教諭による保健の授業 保健給食委員会の活動推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症防止の取組みを第一に行いながら、保健指導や授業の充実を行った。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）</p>	<p>○コロナの影響で運動会等の行事は、残念ながら実施できなかったが、その中でも工夫して子どもたちが楽しんで学校に行けるようにしていただいたと思う。</p> <p>○保健給食委員会は図書委員会とのコラボは、当日聞くことができました。面白い企画だなあと聞いていたのですが、読むのがとても上手で正直驚きました。いろいろな芽を育てていただいていると感じました。</p> <p>○作品展での「ぐるぐるアート」は、周りの人に感謝を伝える取組みがとてもよかったです。</p> <p>●ALTが2学期から不在で、担当の先生が一人で英語を教えていると聞きました。同じ地域で差が出ないようにしてほしい。</p> <p>●「書くこと」について、具体的にどのような研究をされたのか、その結果を踏まえて、今後授業を含めた学校教育で具体的にどのような企画をしていくのかを整理する必要がある。</p> <p>☞食育は、これから丈夫な体をつくっていく上で大変大事なことです。食事を楽しく、大切にしていってほしい。</p>

○：高評価

●：課題

☞：提言

<p>① 設定目標</p>	<p>自分も他の人も大切にし、真摯に人と向き合う児童を育成する(豊かな人間性)</p>												
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>(豊かな人間性)</p> <p>① 定期的な学級実態交流・毎学期1回のいじめ・体罰アンケート・児童会・委員会等の充実</p> <p>② 人権をテーマにした(集団づくり)に関する3回の研究授業、校内研修の実施、人権参観(道徳含む)</p> <p>③ 児童会や委員会活動等を通じた学校の美的環境づくり</p> <p>④ 花、野菜などの栽培、生き物の飼育を通じた命の教育の推進</p> <p>⑤ 支援教育・通級指導教室の充実 支援学級、通級、特別支援の個別支援教育の実施</p> <p>⑥ スクール・ソーシャルワーカー等関係機関と連携したケース会議の実施</p> <p>⑦ 低中高学年での学年人権集会、『平和登校日』</p>												
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>【学校教育自己診断より】</p> <p>○定期的な学級実態交流・毎学期1回のいじめ・体罰アンケート・児童会・委員会等の充実</p> <div data-bbox="406 869 1369 1312" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>いじめや体罰のない学校づくりに取り組んでいる</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>R1 (オレンジ)</th> <th>R2 (白)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>約92</td> <td>約96</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>約88</td> <td>約90</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>約94</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="363 1357 703 1615" data-label="Image"> </div> <p>アンケート結果から、いじめに対する取り組みについては、児童・保護者ともに肯定的な回答が高くなった。教職員の回答は前年度に比べて低くなっているが、現状に満足することなくさらなる取り組みが必要であると考えている結果であろう。本質的な意味でいじめを減少させていくためには、一人ひとりが自分自身を好きになり、友達を大切にすることを経験的に学ばなければならない。そうした取り組みを今</p> <p>後も学校全体で工夫改善しながら進めていく必要がある。</p> <p>○人権をテーマにした(集団づくり)に関する3回の研究授業、校内研修の実施、人権参観(道徳含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権参観は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。</li> <li>・人権をテーマにした研究授業および校内研修は、3回行った。</li> </ul> <div data-bbox="1088 1731 1417 1977" data-label="Image"> </div>	対象者	R1 (オレンジ)	R2 (白)	児童	約92	約96	保護者	約88	約90	教職員	100	約94
対象者	R1 (オレンジ)	R2 (白)											
児童	約92	約96											
保護者	約88	約90											
教職員	100	約94											

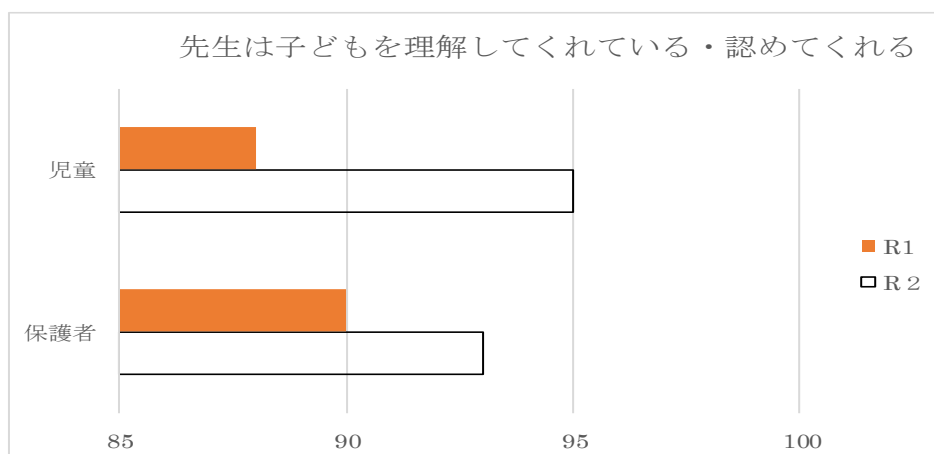


アンケート結果から、児童と教職員については肯定的な回答が高くなっているが、保護者は少し低くなっている。今年度は、保護者の方々に学校の人権教育を参観いただく機会を持つことができなかった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、世の中に「コロナ差別」というあらたな人権課題も表出した。そのことも踏まえて、これまでの人権教育の大切さを再認識するとともに、今後も学校教育中での人権教育の充実を「地域・保護者」と一緒に取り組んでいかなければならない。

- 児童会を中心とした朝の挨拶運動
  - ・年間2回程度、募金活動と合わせて行うことができた。
- 係活動や委員会活動等を通じた学校の美的環境づくり
  - ・チューリップの苗を委員会活動でおこなうことができた。
- 花、野菜などの栽培、生き物の飼育を通じた命の教育の推進
  - ・学級畑を活用して、さつまいもやヤーコン等を育て収穫することができた。



○支援教育・通級指導教室の充実 支援学級、通級、特別支援の個別支援教育の実施



アンケート結果から、児童ならびに保護者から教職員に対しての一定の信頼関係ができてきているのではないかと考えられる。残りの5%から7%の児童や保護者へのさらなる関係構築をめざしていきたい。支援教育では、一人ひとりのニーズに応じた教育をオーダーメイドでつくっていくことが求められている。現在、児童の課題に合わせた支援を行い、励まし、育んでいくことを進めている。今後は支援教育の指導内容にも目を向け、さらなる質の向上が求められる。



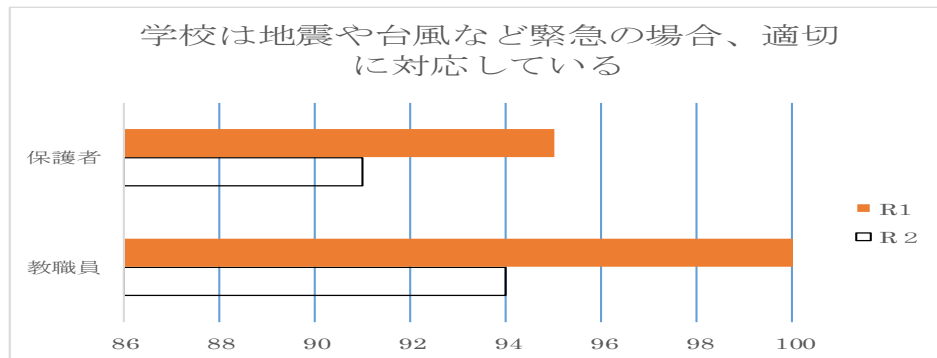
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>○スクール・ソーシャルワーカー等関係機関と連携したケース会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する児童や保護者を対象に、定期的に学年団で協力しながら面談を行った。</li> <li>・ケースによって、SSWにも一緒に入っていただき、専門的な知見を活かしながら保護者支援、児童支援を行った。</li> <li>・学期に一回、個々のケース会議の中から、学校全体で共有すべき内容を選び、「全体ケース会議」を行った。</li> </ul>  <p>○『平和登校日』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、新学期の始まりが遅れた関係で、8月6日が通常授業日となった。そこで「平和学習の日」と名付けて、全学年で「平和を考える」学習を行った。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言</p>	<p>○人とどのように関わりながら生きていくか、大変重要な取組みであると考え。相手とのコミュニケーションの始まりは「挨拶」から。挨拶運動などを継続して取組み、その大切さを子どもたちが実感できるようにこれからも進めてほしい。</p> <p>○支援教室対象児を普通学級に入れることで、そうでない子たちは多様性社会のミニチュアを学べます。これは対象児に対してより、そうでない子たちにとっても良い教育になります。このことが、将来、対象児が生きていきやすい多様性を醸成することに期待したいです。</p> <p>●いじめに関しては、少子化もあり、6年間同じクラスになることもあるので、一度いじめが発生すると大変なことになると思う。この点については今後も力を入れて取り組むべきだと思う。</p> <p>☞「いじめを減少させていくのは一人ひとりが自分を好きになり、友達を大切にすること」も大事ですが、「自分を守るためにはどうしたらよいか」ということも必要ではないでしょうか。「やめて！」という勇気は自分もいじめられている他人もいじめている人も助けます。</p> <p>☞コロナ差別は過去にあった結核差別やハンセン病差別などと同じで、人権の問題というより、科学的根拠のない思考から生まれます。いかに科学的思考法を育てるかということも、差別問題解決に寄与するのではないのでしょうか。</p>

- ：高評価
- ：課題
- ☞：提言

<p>① 設定目標</p>	<p>保護者・地域との信頼関係の構築、保・幼・小・中との連携 (安心・安全) (開かれた学校づくり)</p>
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>(安心・安全)</p> <p>① 週1回の教職員の安全立ち番、地区集会と集団下校訓練</p> <p>② 地域の安全見守り隊や保護者、スクールガードによる、毎朝及び定期的な登下校見守り活動</p> <p>③ 安全マニュアルの作成と各種避難訓練、防犯教室(5～6年)、不審者対応訓練(教職員)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時対応用「緊急カード」作成。保護者引取り訓練の実施。</li> </ul> <p>④ 救急救命講習</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、手指消毒、手洗いの徹底</li> <li>・3密を防ぐ対策徹底、マスクをはずす際の活動(リコーダー、給食、体育等)への配慮</li> <li>・体育参観(体育館、運動場)の実施</li> <li>・分散型の授業公開の実施</li> </ul> <p>(開かれた学校づくり)</p> <p>① 学校情報の地域への発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観4回(土曜参観1回)、学校公開。学級懇談会4回。個人懇談会2回。家庭訪問。</li> <li>・学校だよりの地域、議会、サポーター等関係者への回覧。 ・学校ホームページ。</li> </ul> <p>② サポートボランティアや学生サポーターの授業支援</p> <p>③ 学校教育自己診断の実施 報告資料(学校改善を含む)の作成、配布</p> <p>④ 学校協議会・学校保健委員会の開催 年3回の学校協議会と年2回の学校保健委員会</p> <p>⑤ 地教協や青育協やPTAと連携した、ふれあいのつどい、秋の日のつどいへの参加</p> <p>⑥ 学校支援地域本部の設置、コーディネーターを中心とした支援活動、放課後「わくわく教室」</p> <p>⑦ 行事、奉仕活動などPTAと連携した学校の活性化</p> <p>⑧ 保・幼・小・中との連携</p>
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>【学校教育自己診断より】 (安心・安全)</p> <p>○安全立ち番、地区集会と集団下校訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の立ち番については、通級指導担当者と管理職で行った。</li> <li>・地区集会と集団下校訓練については、年間予定通り、学期ごとを基本に行った。</li> </ul> <p>○地域の安全見守り隊や保護者、スクールガードリーダーによる、毎朝及び定期的な登下校見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、民生委員、スクールガードリーダー等の皆様の協力を得て、児童の登下校の見守り活動を年間通して行っていただいた。</li> </ul> <p>○安全マニュアルの作成と各種避難訓練、防犯教室(5～6年)、不審者対応訓練(教職員)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに安全マニュアルの作成を行った。避難訓練についても、年2回放送で指示や説明を行い、避難経路の確認を各学級にて行った。</li> <li>・その他の訓練については、<b>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。</b></li> </ul>







アンケート結果から、さらなる努力が必要であると考えます。今年度は、新型コロナウイルス感染予防対応に終始した。昨年度に比べて、地震や台風等への対応は少なかったが、今後も緊急事態に備えて、児童や保護者のみなさんの「安全・安心」を第一義に考え対応できるよう、平常時より教職員とともに緊急時の対応確認を行っていききたい。

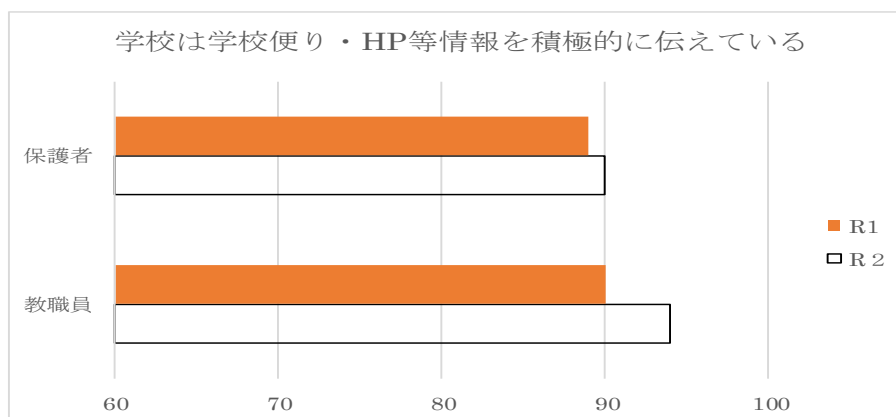
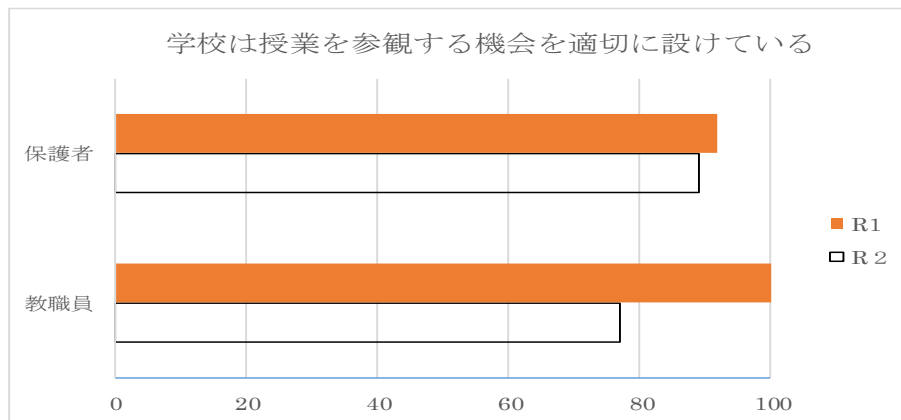
○救急救命講習

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。

(開かれた学校づくり)

○学校情報の地域への発信

- ・授業参観4回(土曜参観1回)、学校公開。学級懇談会4回。個人懇談会2回。家庭訪問。
- ・学校だよりの地域、議会、サポーター等関係者への回覧。
- ・学校ホームページ。





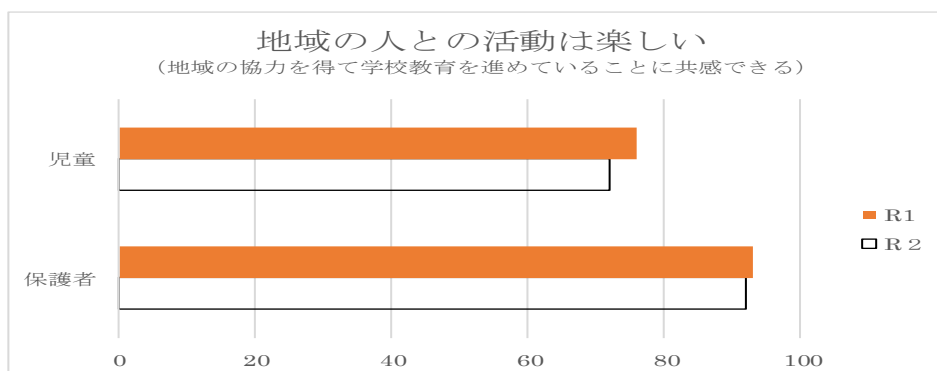
授業参観については、コロナ禍の中、1学期は行うことができなかった。2学期、3学期は参観の機会を人数制限しながら行った。変化する状況を鑑みながら、教職員とともに相談しながら、できる範囲で行った。また、学校だよりやホームページを活用して、学校の情報等をできるだけ発信することを心がけた。保護者や教職員に肯定的な回答が高くなった要因であるとする。来年度に向けて、保護者や地域みなさんにさらにわかりやすく、できるだけ早く情報をお伝えできるよう取り組んでいきたい。

○サポートボランティアや学生サポーターの授業支援

・授業支援では、ミシン補助、田んぼのお世話、認知症サポーター、環境教育等について、学

校へお越しいただき、ご支援いただいた。

・学生サポーターも週1回水曜日に1名来ていただくことができた。



アンケート結果からもわかる通り、今年度は地域の方々との活動は減少せざるをえなかった。しかしながらコロナ禍の中で、できる範囲でご支援をいただいた。特に緊急事態宣言下では支援をいただくことはできなかったため、活動が制限された。マスク着用している活動場面とマスクを外す場面のある活動に分けて考え、授業支援いただく活動については、必ずマスク着用の活動場面であることを徹底しながら、児童、保護者、教職員、支援者みんなが安心して活動できる場面をできる範囲で考えながら取り組んでいきたい。



○学校教育自己診断の実施 報告資料(学校改善を含む)の作成、配付

・年度末の3月に保護者への配付、HPへのアップを行った。

○学校協議会・学校保健委員会の開催 年3回の学校協議会と年2回の学校保健委員会

・年度初めに第1回の学校協議会・学校保健委員会を開催したが、その後は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止または書面にてご意見をいただいた。

○地教協や青育協やPTAと連携した、ふれあいのつどい、秋の日のつどいへの参加

・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。

	<p>○学校支援地域本部の設置、コーディネーターを中心とした支援活動、放課後「わくわく教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後「わくわく教室」は、2学期短い期間のみ、週2回4年生から6年生を対象に行った。その前後は、<b>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。</b></li> </ul>  <p>○行事、奉仕活動などPTAと連携した学校の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞会をPTA役員のみなさまのお力で、落語家さんと 芸人さんに来ていただくことができた。</li> <li>・そのほかの活動は、<b>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。</b></li> </ul> <p>○保・幼・小・中との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保・幼との交流会を学期に1回もつことができた。</li> <li>・3学期は、緊急事態宣言下で予定が延期となったが、日程調整を行い、幼稚園・保育所の児童を小学校へ招くことができた。</li> </ul> 
<p style="writing-mode: vertical-rl;">④学校関係者評価(学校協議会等からの提言)</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大の状況に合わせて、その都度学校現場の先生方で創意工夫をして教育活動をしていただき、感謝申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●PTA活動やボランティアも簡素化され、保護者の足がどんどん遠のいている気がします。高齢化に伴い、地域の方の関心も薄れているのを感じます。</li> <li>●「学校は緊急時対応等の場合、適切に対応している」項目について、保護者、教職員ともに昨年度と比較して、肯定的な回答が低くなっている。この点はその要因も含めて分析し、保護者にさらに信頼される対応を行ってほしい。</li> </ul> <p>☞コロナの影響で地域とのかかわりが制限されてしまったので難しかったと思う。いつもは子どもたちが登下校の際に見守られているが、反対に子どもたちが地域の方の通勤、通学を見守る役割をし、交通安全に対する意識を高める取組みもいいのではないかな。</p>

○：高評価

●：課題

☞：提言